

## 2007年度第2回理事・企画委員会 議事録

---

■日時:2007年9月7日(金)10:30~13:00

■会場:(独)産業技術総合研究所 つくば中央第6事業所 6-11棟 2階 会議室 215&216

■理事総数:12(他監事2)

出席者:

- ・理事:田村、赤松、安藤、大森、木暮、渋谷、大門、田中、丁井
- ・監事:松沼
- ・企画委員:上新内、岡田、萩原、長谷川
- ・事務局:都築

委任状提出者:

- ・理事:川野
  - ・監事:三浦
  - ・企画委員:伊藤、大杉、境、中澤、山田
- 

### ■配布資料

1. 第2回理事・企画委員会議案書
2. 会計報告(シンポジウム07の会計)
3. シンポジウム「モバイル08」募集要項
4. モバイル学会役員選出方法について(宮尾より)
5. 論文誌に関する案(安藤より)
6. 論文規定案(大門より)

### 議題1 シンポジウムの会計報告

田村会長より、議案書に基づき「モバイル07」の報告がなされた。  
また、黒字は、学会の運営経費とすることが了承された。

### 議題2 会員動向の報告

田村会長より、議案書に基づき会員動向が報告され、賛助会員の増員があった旨が述べられた。

### 議題3 理事選任方法について

理事選出方法については、宮尾理事から以下の案が提示された(代読:長谷川企画委員)。

「役員の選任は総会で行うが、まずは理事会で、役員選考委員会を作り、役員の推薦(自薦、他薦)アンケートを作成し、全会員に送付する。その結果を受けて、理事会で次期理事候補案を決定し、総会に提案する。」

上記の案について審議され、承認された。

また、役員選考委員会として、**宮尾理事、田村理事、岡田企画委員**が選出された。

### 議題4 学会誌創刊について(安藤、大門)

安藤理事、大門理事より、別紙資料が配布され、これを元に審議した。以下の事項が承認された。

- ・原則的には電子出版とする。希望者および図書館へは紙媒体で頒布する。
- ・学会誌名:**モバイル学会誌**、英文名:今後検討

- ・**学会誌内容構成**: 研究論文だけでなく、特集記事、解説記事、寄稿等も対象にする。
- ・**投稿規定・査読要領**については、他学会のものを参考に、検討を継続。
  - 査読スケジュールや査読者数を明確に示す。
  - 論文種別(研究論文、技術論文、実践論文)を設ける。
  - 論文種別の選択は筆者・査読委員の判断による。
- ・**投稿者資格**: 執筆者(連名者)には、必ず学会員を含むこと。
- ・**学会会員向けサービス案**: アブストラクトは一般に公開し、会員向けには全論文のPDF版をパスワード・ダウンロード方式で配信する。
- ・**電子出版特任担当**
  - 赤松副会長をと特任担当とする。
  - 論文の一部コピーの可否、印刷コピーの可否などの管理
  - 電子出版であれば、動画を入れることができる。再生フォーマットの規格。
  - リーダ、ビューアを出版物に含めておくことも可能。
  - セキュリティのチェックを入れる。
- ・**編集・査読担当**
  - 第1巻の担当者は、安藤理事と大門理事とする。
  - 投稿勧誘の文章も、安藤理事、大門理事より案を提出していただき、メール審議で決定する。
  - 年に1度、まとめて掲載するのではなく、2、3編ずつでも小分けに出版する。
  - 事務局で、ヘッダー・Vol・No・ページ番号を入れる。
  - 参考文献として引用できる形式になるようにする。
- ・**出版スケジュール**について
  - シンポジウム直前は事務局が忙しいので、発行は6月末とする。
  - アナウンス: できるだけ早急に、内容は学会誌委員で検討
  - 投稿〆切: 12月末日
  - 一次査読 1月中・下旬
  - 一次査読で採録可となった原稿について修正・加筆を求める。
  - 著者修正: 2月中(あるいは3月)
  - 完成原稿: 4月中
  - 査読完了
- ・**掲載料**について
  - 第1号については、無料にするという案もある。
  - 電子出版なので、印刷に比べると安価であろうが、実費は支払っていただく。
  - 事務局で必要な費用は算出し、後ほどメール審議で決定する。
- ・**印刷**について
  - カラー印刷は1頁40円の水準にある。現状では100頁が4,000円でかなり高価になる。
  - カラーと白黒をミックスすると1頁20円水準にはなると予想される。
  - 製本も100円/冊程度で可能。
- ・**会員等への周知・広報**について
  - 論文題目、要旨、著者等はWEBに公開し、会員にはメールで広報する。
  - 電子出版していることで新鮮な、水準の高い学会であることを周知させる必要がある。
- ・**査読受理基準**について
  - HCI、HIシンポジウムなどの口頭発表(適宜修正・加筆後の論文)も、本学会誌への査読を受け付ける。
  - 他学会で掲載された論文、査読を受けた論文は、本学会誌への査読は受け付けない。
  - 内容的に格段の進展が明瞭の場合は、その限りでない。
- ・**実践論文の査読基準**について
  - 基本的には一般論文と同じ査読用チェックシートを利用するが、事例研究などのように、一般化が難しいものについてもその点を考慮した査読を行う。検証方法が妥当であれば、一事例であっても実践論文として掲載しても問題ない。

#### 今後検討課題

- ・シンポジウムの発表に論文発表の枠を設ける? シンポジウムの発表者に論文投稿を促す?
- ・(まじめで堅苦しいだけでなく)おもしろい論文を集めたい。
- ・原稿はいまひとつだが、発表を聞くと面白い研究もある。発表の面白さ(良さが)伝わる論文集ができないか。
- ・投稿原稿に対する採否は、早々に決めて、査読期間を短くする。
- ・(完成度の高い)フルペーパーよりも、(完成度はともかく、アイデアの新鮮な)ショートペーパーの方に聴衆は集まる傾向がある。

これらの内容を事務局で取りまとめ、追ってメール配信し、理事・企画委員の意見を諮った後、集約するとした。

#### 議題5 第5回研究会について(長谷川)

- ・日時:平成20年1月11日(金)
- ・場所:名古屋大学 東山キャンパス
- ・テーマ:「モバイルシステムの新動向」
- ・参加費:無料 資料代:実費

研究会のテーマについて議論され、長谷川企画委員と事務局で再検討とした。  
また、資料代や全体スケジュールについては、事務局で調整後、報告とした。

次回の研究会については、継続検討とした。

#### 議題6 シンポジウム「モバイル08」について(赤松)

- ・日時:2007年7月3日(木)～4日(金)
- ・会場:産業技術総合研究所臨海副都心センター別館11F

赤松副会長よりポスター案が提示され、以下の要望が出された。

- ・会場の所在地をわかりやすくする。最寄駅など
- ・開催場所(お台場)をわかりやすくする。お台場イメージの追加
- ・もっと目立つように
- ・開催日を目立つように 年はもう少し目立たないように

また、「今後は、学会ロゴが必要」との意見もあがった。

赤松副会長より、特別講演については検討中との報告があった。素案は以下の通り。

- ・筑波大学稲垣先生。
- ・筑波大学の蓮見先生(デザイン)
- ・サービス工学関係者
- ・モバイル医療
- ・オムロンの医用部門
- ・モバイル機器における動画の動向。
- ・ゲーム系 DS世代

赤松副会長より、パネル討論については検討中との報告があった。素案は以下の通り。

- ・携帯の展示(昔から現在までの携帯を並べる展示:木暮理事)
- ・ナビの展示も?

(以上)

平成19年9月7日

議長

田村 博

議事録署名人

大森 正子

議事録署名人

田中 成人